

北海道支部安全大会 実施概要

コロナ禍の中、「3密」回避を図るため、集合での安全大会開催は見送ったものの、継続的な安全意識の向上のため会員各位への資料送付という形で、去る2020年9月16日(水)に「2020年度ITEA北海道支部安全大会」を実施(資料送信)いたしました。

式次第

1. 大会挨拶 ITEA北海道支部長 大村 佳久
2. 来賓ご挨拶 NTT東日本 北海道事業部長 阿部 隆 様
3. ITEA北海道支部 統一施策の紹介 (株)日本コムシス 北海道支店
4. 安全決意表明(4社代表) (株)つうけん 道央事業部 松本 康平
5. 安全スローガンの確認 (株)協和エクシオ 北海道支店 矢川 和彦

大村支部長挨拶

支部長の大村です。

例年ですと、ITEA会員の皆さんを前にご挨拶をさせていただくところですが、皆さんもご存じのとおり、年明け早々から「新型コロナウイルス」の感染拡大が騒がれだし、現在に至っているような状況で、例年のような



大村支部長

集合での開催は困難であると判断したことから、今期においては書面による安全大会となったことについて、ご理解いただきたいと思っております。

冒頭、非常に残念なお話からさせていただきますが、当北海道支部の会員会社において、大型トラックの後退時に専門交通誘導員の方を巻き込み、死亡させるという痛ましい死亡事故を発生させてしまいました。

今回の事故でお亡くなりになりました専門交通誘導員の方のご冥福を心よりお祈りいたします。

事故の詳細については明らかになっていない点もありますが、「運転者の後方確認不足」が主たる原因だと思われます。また、本事故に伴い、「指揮命令の甘さ」や「日頃の作業前行動の不徹底」なども、浮きぼりとなってまいりました。

北海道支部としても、本事故を重大な事故と捉え、北海道ALLとして再発防止に努めて参りたいと思っております。

さて、このような事態も踏まえ、ここ最近の事故の発生状況を含めて、現状を皆さんと意識を合わせ、北海道では「人身・設備事故」あるいは、「交通事故」を含め、「事故は絶対に起こさない」という決意を新たにしたいと思います。

まずは、2016年度～現在までの「絶対にあってはならない死亡事故の発生状況」について、〔グラフ1〕に示すとおり、2016年度から毎年2～4件の死亡事故が

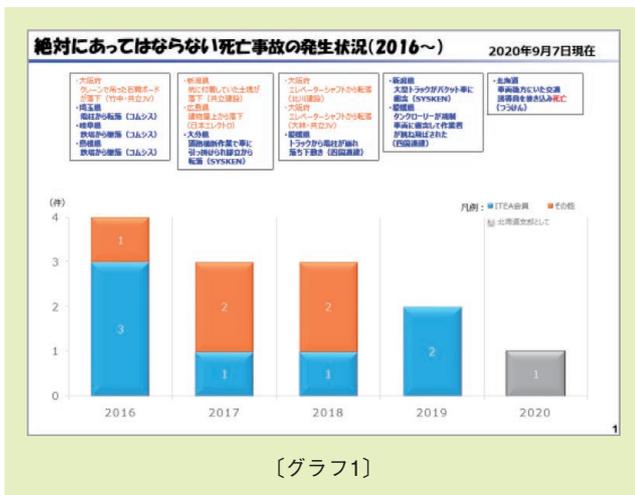


七飯町字大沼事故現場写真(2020.9.5)

発生しており、昨年度においても2件の死亡事故が発生しております。

本年度については、北海道として「絶対にあってはならない死亡事故」を発生させたことに対し、重く受け止めなければなりません。

ここ最近、北海道においては「絶対にあってはならない死亡事故」は発生していなかったものの、過去においては、作業終了後、専門交通誘導員がバックしてきたバケット車に挟まれ、死亡事故には至らなかったものの「重篤な事故」を発生させるという類似の事故を起こしたことがあるようです。



【別紙3】 工事用車両における安全装備の早期実施について

1. 装備化する安全装備について (案)

装備化の目的	安全装備品	機能
運転手への危険の気づき	1. バックモニター	車両後部カメラにより、車内モニターにて後方の障害物を目視確認し、衝突を回避
ガードマン・作業員および通行者への危険通知	2. バックセンサー 3. バックブザー 4. バックライト	車両後部センサーにより、障害物近傍で警告音が発生し、衝突を回避 ※道路部と車道の安全基準の細目と定める告示第141号に適合すること 回転灯により周囲へ危険通知※現在の標準安全装備に比し

※バックブザーは車両に標準装備

2. 対象車両

3. バックモニター、バックブザーの装備化完了時期

(1) 穴掘建柱車、ユニック、トラック (184台) ……2020年11月予定
(2) バケット車、バン (1,800台含む) (556台) ……調整中

(T社緊急車両安全装備化)

人は事故の原因に学び、今ある安全作業の手順等を作り上げてきました。しかしながら作業環境の変化や技術の進化に応じた現状の作業手順の見直しなどの行動を、しっかりと行ってきていたでしょうか？ 今一度、会員各位が自らを振り返り、「絶対にやってはいけない行動」とは何か、「不安全な状態」とはどのような状態か、今回の事故を契機に「危険を見抜く力」を、KYT・小集団活動を通じ、しっかり身に付けていただき、自身、そして我々の仲間から決して不幸な事故を二度と起こさない

よう決意を新たにしましょう。

今回の事故を契機として、ITEA北海道支部会員の全社をあげて、交通事故撲滅期間を設定し、各種施策の取り組みや「車両安全装備化」の推進をしていく必要があります。ポイントは、作業前プロセスをしっかりと見直し、班長等の明確な指示のもと行動する仕組み作りや、車両運転時におけるサポート機能の充実を図るべく、「車両安全装備化」を加速させ、「人」・「物」の両面から対策を進めることが必須であります。

繰り返しになりますが、今回の事故でお亡くなりになりました専門交通誘導員の方のご冥福を祈ると共に、我々、ITEA北海道支部会員は「北海道ALL」としていかなる事故も発生させないよう、会員一丸となって安全活動に取り組んで行かなければならないと思います。

また、新型コロナ禍の中で、不自由な作業となっております。感染防止行動を徹底し、安心・安全な行動が現場で行えるようお互いに頑張っていたきたいと思います。

阿部事業部長様 来賓挨拶

○NTT東日本の経営状況

・2019年度の営業収益は対前年▲635億円の1兆6771億円となりましたが、費用を削減し、営業利益は+134億円の2560億円と8期連続増益、5期連続最高益を達成しております。

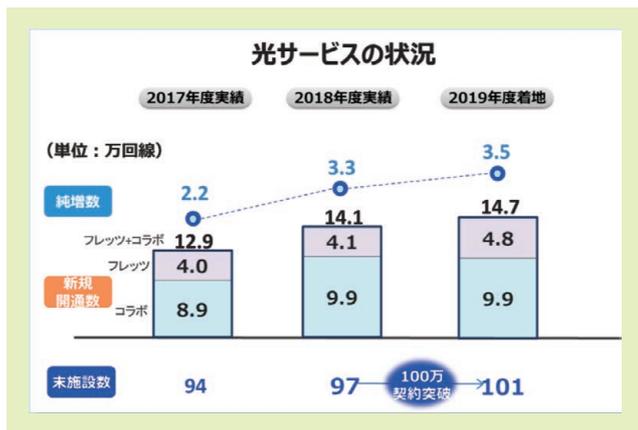
・一方、光回線の純増は40万回線のチャレンジ目標に対し、36万回線の純増にとどまりましたが、2020年度は1Qの光回線純増数が好調であることから、+119億の増収、+40億の増益を目指している状況です。

○北海道事業部の経営状況

・北海道事業部の連結利益は62億円となり、光回線純増数においては、通建会社の皆様のご協力により、目標の3.2万回線を超える3.5万回線を達成し、2019年11月には累計100万回線を突破しております。

・日頃よりBO削減等にご尽力いただいた通建会社の皆

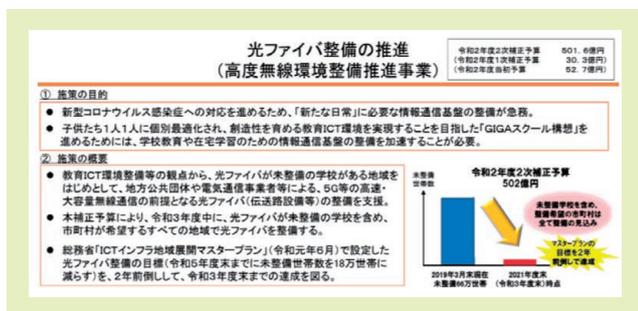




様のおかげと感じており、心より感謝申し上げます。

○通建会社を取り巻く状況

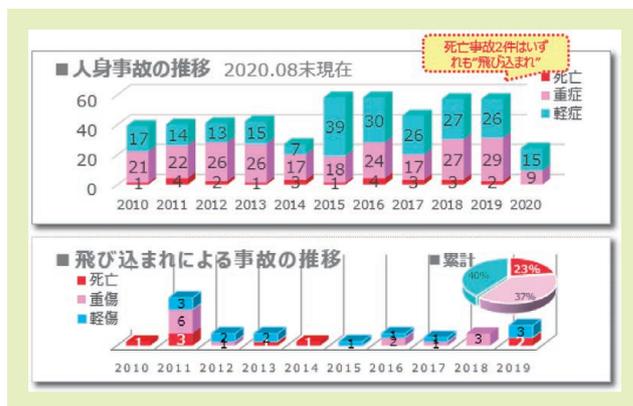
- ・今年度はコロナ禍の大変な状況の中、指定公共機関としての“つなぐ使命”を果たしながら、工事班の感染対策徹底など、お客様との現地対応においてもご協力をいただき、感謝申し上げます。
- ・さらにNTT東日本の事業計画でもある『地域貢献・活性化の推進』においては、日頃よりお客様の声を受け止めていただいている通建会社の皆様とより一層の連携を図りつつ、地域の持続的な発展に貢献できるように努めていきたいと考えております。
- ・特に今年度は、国策である「GIGAスクール構想」、「高度無線環境推進整備事業」が大きなトピックであり、北海道事業部としても収益拡大や未光エリアの光化の最大のチャンスと捉えております。皆様とともに、チームNTT北海道として総力を挙げてこのプロジェクトを成功させ、今後の北海道のより良い未来を創造していきたいと思っておりますので、引き続きのご協力をよろしくお願い致します。



○NTTグループでの電気通信設備工事における人身事故発生状況

- ・今年度NTTグループ全体では24件発生。死亡に至る重篤事故の発生はありません。
- ・しかし昨年度を振り返ると、NTTグループ全体で2件の死亡事故が発生しており、2件とも「飛び込まれ」要因によるものとなっています。

- ・過去10年を振り返ると飛び込まれによる事故は毎年発生しており、うち23%は死亡事故となっています。
- ・特に飛び込まれによる事故は重篤事故につながりやすいので、保安施設内での作業、安全チョッキの着用、交通誘導員の適正配置・作業前指示の徹底等の基本ルールを順守し事故の防止に努めていただくようお願い致します。



○北海道設備グループでの電気通信設備工事における人身事故発生状況

- ・北海道内においては例年1～2件の人身事故が発生している状況ですが、今年度は現在まで人身事故の発生はありません。
- ・前述の通り、今年度は国策である「GIGAスクール構想」、「高度無線環境推進整備事業」等例年にない大量工事が予定されております。地域住民の皆さまも工事の様子を非常に注目しており、ご期待に応えられる立ち振る舞いが求められます。また作業にあたっては重篤な事故の発生がないよう「作業開始前にKYを確実に実施」、「工事の際に想定外の事象が発生した際はいったん立ち止まり、事務所（管理者）へ連絡して指示を仰ぐ」など、基本動作を徹底いただくようお願いいたします。

○賞賛の声

- ・SO工事および故障修理業務では今年度もお客様から多くの賞賛の声をいただいております。昨今のコロナウイルス感染リスクの高い中、さらに夏場の猛暑環境下にある中、1つひとつついでに作業していただいていること、日頃からNTTブランドの維持向上にご尽力いただいていることに対し深く感謝申し上げます。引続き、広大な北海道の設備の構築・保守およびサービスレベル維持へのお力添えをお願い致します。

最後に、既にご存じかと思いますが、9月5日に函館管内七飯町において、作業開始前に駐車のため車両をバックさせた際、後方にいた交通誘導員を巻き込み死亡

させるという事故が発生しました。危険は作業前後にも潜んでいることを常に忘れず意識・行動し、同様の事故を発生させないようにNTTグループ北海道全員で取り組んでいきましょう。

また現場第一線で作業される方、またバックヤードで支える皆様におかれましては、**安全を最優先に考えて作業を行っていただく**とともに、新型コロナウイルス対策においても1人ひとりがルールを遵守し感染予防および拡散防止に務めていただくようお願い致します。

それでは皆様、「ご安全に！」

北海道支部 統一施策の紹介

ITEA会員各社において、交通事故撲滅に向け「ドライブレコーダー装着による安全運転指導」、「車両の装備強化」等により取組みを強化しています。

北海道支部管内では冬型事故、薄暮時に交通事故が多発することから、ITEAではそれぞれの取組みを統一施策として実施します。

- ①冬型事故対策：安全パトロール時に『冬の安全装備点検』を行い事故の未然防止
 - ②薄暮時の事故対策：自ら交通事故にあわないよう歩行者視線で通勤時に反射材を身に付け防衛意識の向上
- <冬型事故対策：安全パトロールの強化>

■冬期間の移動時の想定リスク

1. 車両のスリップによる交通事故（自責・他責）
2. 路上でのスリップによる転倒及び交通事故
3. 傾斜地での駐車中の交通事故

■各社における具体的な取組み内容

1. 車両での移動時の安全運転の徹底
 - ①夜間の運転の自粛：宿泊の推進
 - ②始業点検の徹底
 - ：不凍液残量、車両上の除雪等含む
 - ③冬装備の徹底
 - ：タイヤ・スコップ・ロープ・救急箱等
2. 路上に滑り止め及び融雪対策の実施
 - ：砂や凍結防止剤の散布
3. 傾斜地での駐車禁止の徹底・駐車時の輪止め使用の徹底

■ITEA統一施策

北海道『冬の交通安全運動』の重点3項目に加えITEA独自に『冬の安全装備点検』を実施する

1. 運動期間：11月13日（月）～22日（日）10日間
2. 運動内容：安全パトロールチェック項目に冬の装備点検項目を追加しパトロールの強化を図

り、全車両確実な装備化を図る

3. 取り組みの重点

◆冬の交通安全運動重点取り組み事項<北海道>

1. 高齢者の交通事故防止
2. スリップ事故防止
3. 飲酒運転の根絶

◆ITEA北海道支部における統一施策

4. 移動時におけるリスク回避への取り組み
5. 冬期間車両事故の再発防止

<薄暮時の交通事故対策：反射材着用>

■背景：死亡交通事故の発生状況

- ・2015年～2019年の5年間で死亡事故は通勤時間帯（17時～19時台）の発生が突出しており、特に10月～12月にかけ最も多く発生している
- ・薄暮時は「自動車対歩行者」の事故が多くほとんどが「横断中」に発生



<ITEA統一施策：反射材の着用>

死亡交通事故が多くなる時期、時間に『自分の身を自分で守るため』通勤時に反射材を身に付け、ドライバーに早めに自分の存在を知らせることで自己防衛すると共に交通安全意識の醸成を図る。

1. 運動期間：11月13日（月）～12月31日（木）
2. 運動内容：ITEA全会員に反射材を配布し通勤時に個人所有のカバンなど反射材を装着する
3. 参加数：約3,000名



安全スローガンの確認

2020年度
ITEA北海道支部 安全スローガン
**危ないと思ったその時
立ち止まれ
やめる勇気で事故防止**



スローガン作成者の紹介

会社名：
株式会社協和エクシオ北海道支店
NTT事業部門 NTT営業担当
氏名：矢川 和彦

安全決意表明（4社代表）

安全決意表明

私たちは、「安全は何よりも優先する」ことを念頭に、

- 一つ、高所作業では安全な足場の使用、防網の設置、安全帯や親綱着用の徹底など、墜落・転落対策を確実に実施し「絶対に無ロープ状態にならない」事を遵守し作業致します。
- 一つ、安全施工サイクルを遵守し、作業前に必ずKYを行い、「安全の鉄則」に基づく行動で安全作業を実施します。
- 一つ、危険工程は基より、各作業において危険を感じたら、“立ち止まり、考え、相談し”それでも危険が排除できない時は、止める勇気をもって、安全作業に徹します。
- 一つ、個人情報やお客様情報などの情報資産の管理を徹底し、情報漏えいの防止に努めます。
- 一つ、我々一人ひとりが安全運転に心がけ交通ルールとマナーを遵守し交通事故を防止します。

以上、今般のコロナ禍で、安全の確保、信頼の確保に万全を期し、情報通信インフラの構築に貢献します。

2020年9月16日

情報通信エンジニアリング協会 北海道支部

代表 株式会社つうけん
道央事業部
松本 康平



大会後記

ITEA会員の皆さんいかがでしたでしょうか、今期の「ITEA北海道支部安全大会」については、新型コロナウイルス対策を受け、集合での実施を見合わせていたところですが、皆さんとコロナ禍においても、「安全」をキーワードに北海道で通信建設業に従事されている方々との意識統一や「無事故の継続」、さらには「交通事故防止」を図る観点から検討した結果、本書面をもっての大会の開催となりました。

開催手法の賛否はあろうかと存じますが、主旨、昨今の背景等、ご理解のうえ、さらなる安全活動の推進並びに、基本動作の徹底を、今一度再認識していただければと思います。

暑かった夏も過ぎ、実りの初秋を迎え、現場作業においても能率向上が見込まれる時期でもございます。

例年にも増して「コロナ対策」も意識しつつの現場作業となりますが、「現場・デスク」が一体となり「無事故、北海道」を目指し、頑張りましょう。

2020年9月吉日

ITEA北海道支部 事務局